

日本河川・流域再生ネットワーク <http://www.a-rr.net/jp/>  <https://www.facebook.com/JapanRRN>

「日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）」は、河川再生について共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動する団体です。またアジア河川・流域再生ネットワーク（ARRN）の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、海外の素晴らしい取組みを国内に還元する役割を担います。（Since 2006）

目次	Pages
➤ JRRN 事務局からのお知らせ.....	1
➤ JRRN 会員寄稿記事.....	7
➤ JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ.....	9

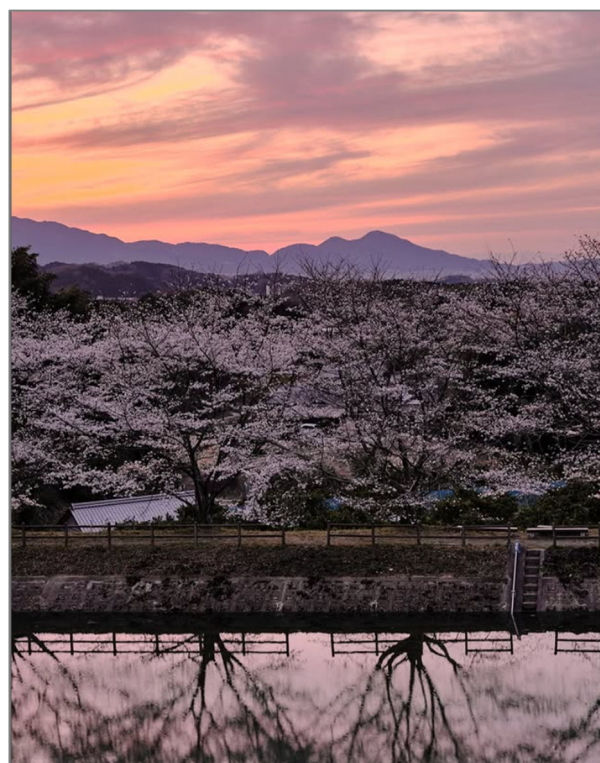
JRRN 事務局からのお知らせ (1) JRRN Activity Report

「#桜のある水辺風景写真 2025」結果のお知らせ

5 月 12 日（月）に応募を締め切りました、「桜のある水辺風景写真 2025」にご投稿いただいた皆様ありがとうございました。今年度も全国各地より、桜のある水辺風景写真を投稿いただきました。最優秀賞 1 点、優秀賞 2 点をご紹介します。

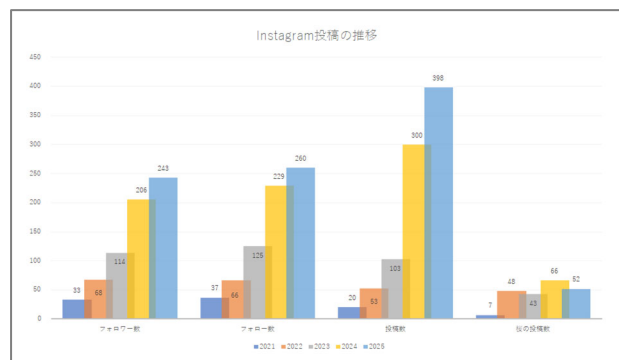
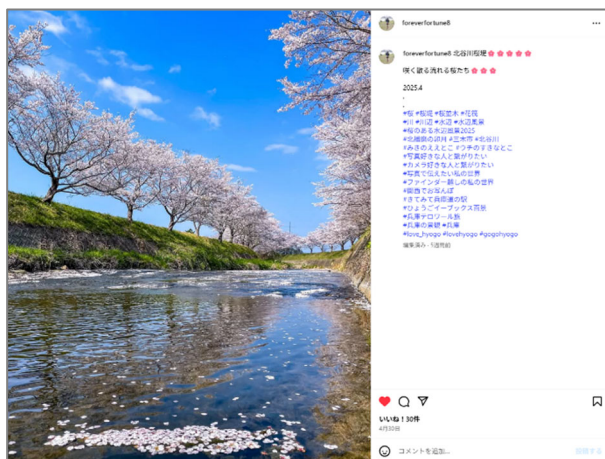


【最優秀賞 yoshi.sakamoto1101 さん】



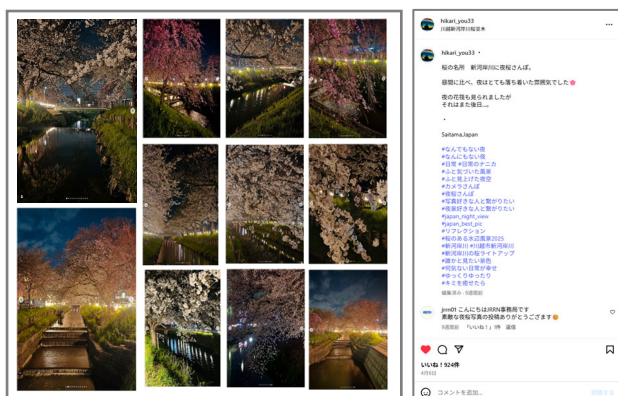
2025 年 6 月 9 日 JRRN Instagram にて発表済

【優秀賞：foreverfortune8 さん】



今年度の総投稿数は 52 件でした。投票を獲得した 10 作品より、最優秀賞、優秀賞が決定しました。

【優秀賞：hikari_you33 さん】



今年は、初めて参加された方が最優秀賞に選ばれたり、昨年も優秀賞だった方がまたすてきな作品を投稿してくださいました。フォロワー数も順調に増え続けています。JRRN の Instagram が各方面に浸透していることを実感できました。また、全体的にフォトジェニックな作品が多く見られ、川や水辺の魅力が存分に表現されていたのが印象的でした。投稿いただきました皆様に改めてお礼申し上げます。

これからも JRRN では、河川や水辺の情報について発信・共有することを目的に活動していきます。どうぞお気軽にフォローや「いいね！」をお願いします。

【選考結果資料】

桜のある水辺風景2025 結果概要

・応募期間 2025年3月1日～5月12日
・応募数 52件（うちJRRN事務局投稿22件）
・投票結果 JRRN事務局担当者による投票により選定

最優秀賞 2点
優秀賞 1点

の加減制。
最優秀賞 1件、優秀賞2件が決定

・最優秀賞 No.10 yoshi.sakamoto1101さん (7点)
・優秀賞 No.39 foreverfortune8さん (6点)
・優秀賞 No.21 hikari_you33さん (4点)

【参考 JRRNインスタ概要 (5/16 11:00時点)】

- ・フォロワー数 242人
- ・フォロワー平均 260人
- ・投稿数 399件
- ・https://www.instagram.com/jrrn01/

	エントリー No.	合計得点
最優秀賞	10	7
優秀賞	39	6
優秀賞	21	4

全投票結果

エントリー No.	最優秀賞 (2点)	優秀賞 (1点)	優秀賞 (1点)	合計得点
10	4	1	0	7
19	0	1	0	1
20	0	0	1	1
21	2	2	0	4
23	0	1	0	1
37	2	0	1	3
39	4	1	1	6
41	0	0	2	2
47	2	0	0	2
49	0	0	1	1

・投票のあった作品は全10点 (内2点は事務局投稿)

・最優秀賞の No.10 yoshi.sakamoto1101さんは初投稿の方でした

Instagram

<https://www.instagram.com/jrrn01/>

#河川 #河川敷 #水辺 #自然環境 #river



(JRRN 事務局・後藤千佳子)

JRRN 事務局からのお知らせ (2) JRRN Activity Report

小さな自然再生普及促進プロジェクトー 今年度開催する「小さな自然再生」現地研修会のご案内

「小さな自然再生」現地研修会の開催希望地を 4 月～5 月にかけて皆様より公募した結果、全国より 5 件のご応募及び 2 件の相談を頂きました。計 7 件の関係者とのオンライン形式での面談を行った結果、**今年度は 3 件の現地研修会を開催**することが決まりました。今年度開催とはならなかった現地につきましても、来年度以降の研修会開催や、研修会とは別の形での協力をしながら連携していく予定です。

なお、本現地研修会は、行事開催が目的ではなく、本研修会がきっかけとなり、地域の様々な主体が連携し、生物の生息・生育・繁殖の場が保全・再生され、さらに取組みを通じて地域が更に元気になっていくことを狙いとしています。各研修会が実りある機会となるよう、応募者との丁寧な企画調整を行い、研修会の準備を進めて参ります。

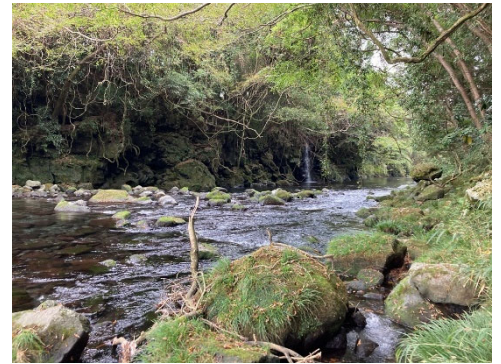
(JRRN 事務局・和田彰／白尾豪宏／佐藤充人)

参加申込受付中

第 28 回「小さな自然再生」現地研修会 in 静岡県富士宮市・芝川

- ◆開催： 2025 年 7 月 17 日 (木) 10:00～17:00 ※次ページ参照
- ◆場所： 静岡県富士宮市下柚野 165 <ホールアース自然学校 富士山本校>
- ◆共催： NPO 法人ホールアース自然学校、「小さな自然再生」研究会、JRRN
※共催・協力団体調整中

富士山の湧水を起源とする清流・芝川をフィールドに、小さな自然再生を通じた水辺の生態系保全と共に、その活動の中に見い出せるさまざまな環境教育プログラムの試行を行います。垣根を超えた様々な分野の皆さんと共に、知恵やアイデアを出し合いながら、「芝川のためにできること・芝川でできること」を考えます。



企画調整中

第 29 回「小さな自然再生」現地研修会 in 静岡県静岡市清水区・庵原川

- ◆開催： 2025 年 10 月 5 日 (日) ※時間調整中
- ◆場所： 庵原川河口一葉橋（静岡市清水区横砂南地内）及び横砂自治会館
- ◆共催： いはらの川再生 PJ 会、「小さな自然再生」研究会、JRRN 他
※共催・協力団体調整中

石倉カゴの設置など二ホンウナギの生育環境保全活動を始めて約 10 年。地域の子どもたちが環境保全に継続的に取組み、新たな仲間も巻き込みながら周辺地域へと横展開していくことを目標に、二ホンウナギを含む庵原川流域の生き物の生息・生育づくりのためにできる活動を参加者で体験しアイデアを交換します。



企画調整中

第 30 回「小さな自然再生」現地研修会 in 福井県若狭町

- ◆開催： 2025 年 11 月頃開催予定 ※日時調整中
- ◆場所： 福井県若狭町・はす川（予定）
- ◆共催： 三方五湖自然再生協議会、「小さな自然再生」研究会、JRRN 他
※共催・協力団体調整中

はす川等の自然再生に向けては、サケやアユなどの遡上や移動を妨げない横断構造物の管理、また河川内の多様で微細な環境の創出が課題となっています。本研修会では、はす川等の自然再生に向けて小さな自然再生でできることを参加者で考え、地域が連携した取組へと発展していくためのアイデアを交換します。



第28回

静岡県富士宮市・芝川

参加者
募集

「小さな自然再生」現地研修会

～「環境教育プログラムとしての小さな自然再生」
を体験してみよう!～

開催日

令和7年 7月17日 木

【開催趣旨】 富士山の湧水を起源とする清流・芝川。今もその豊かさが残る一方で、いきもののすみかの喪失や市民の川に親しむ機会の減少といった課題が見えてきています。今回の研修会では、小さな自然再生活動を通じた水辺の生態系保全と共に、その活動の中に見い出せるさまざまな環境教育プログラムの試行を行います。垣根を超えたさまざまな分野の皆さんと共に、知恵やアイデアを出し合いながら、「芝川のためにできること・芝川でできること」を考えたいと思います。

開催日時 令和7年7月17日（木） 10:00～17:15（9:30～受付開始）

会場 静岡県富士宮市下柚野165 <座学：ホールアース自然学校 富士山本校 / 現地：芝川>

対象 芝川での保全活動や体験活動に興味・関心のある方々（※未経験者でもOKです）

定員 30名（先着順）

参加費 無料

持ち物 胴長靴もしくは長靴、作業用手袋、昼食

プログラム ※プログラム及び講演タイトルは一部変更の可能性もあります。
※主催者側で行事保険に加入いたします。

★分野が異なる方々也大歓迎です！様々な立場の方で集まり、芝川の今後の可能性を考えましょう♪

※参加申込方法、会場へのアクセス、
問合せは裏面をご覧ください。

（10:00～10:50）座学研修

- 開会挨拶
- 芝川における自然体験活動の紹介と今後の展望（松尾 章史：NPO法人ホールアース自然学校）

（11:00～16:30）小さな自然再生と水辺の環境教育の実践 @芝川

- バープ工で寄り洲づくり、魚の隠れ家づくり実践・解説
- 環境教育プログラム実験

寄り洲があると水が綺麗になる ～ 川の砂を使つたろ過実験 ～

水生昆虫を餌にして、生分解資材だけでフィッシング

■現地技術指導：三橋弘宗（兵庫県立 人と自然の博物館・ひとく）、白尾 豪宏 他

※途中で、昼食・休憩・交流の時間を設けます

（17:15）閉会



河川
基金

公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けています。

主催：NPO法人ホールアース自然学校、「小さな自然再生」研究会、日本河川・流域再生ネットワーク

協力：公益財団法人リバーフロント研究所

会場のご案内

研修会場

ホールアース自然学校
富士山本校
(森の家 講義室)

〒419-0305

静岡県富士宮市下柚野165

※研修会場へは **お車** でお越し下さい。



申し込み方法

必要事項（氏名・所属・連絡先等）を明記の上、E-mailでお申し込み下さい。

申込〆切日：令和7年7月11日（金）17:00

E-mail：info@a-rr.net

項目	記入欄
(ふりがな) 氏 名	
所 属	
連絡先	〒
	住所：
	電話：
	Email：

※記入された個人情報は、厳重に管理した上で、JRRNが主催する行事等のご案内に利用させて頂く場合がございますので、ご了承願います。

【お問合せ】 日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局 （担当：和田彰・白尾豪宏）

〒104-0033 東京都中央区新川1-17-24 NMF茅場町ビル7階 （公財）リバーフロント研究所内

Tel: 03-6228-3861 Fax: 03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net

Website: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>



JRRN 事務局からのお知らせ (3) JRRN Activity Report

小さな自然再生普及促進プロジェクトー『第2回小さな自然再生サミット 2025 京都大会』予告

2019年1月に「第1回小さな自然再生サミット」を神戸で開催してから7年が経過しました。この神戸でのサミットの出会いがきっかけとなり、魚道づくりに関わる広域連携が始まるなど、小さな自然再生が全国へと広がってまいりました。

■「第1回小さな自然再生サミット 2019 神戸大会」概要

<http://jp.a-rr.net/jp/activity/public/610>

■「第1回小さな自然再生サミット 2019 神戸大会」報告書

<http://www.collabo-river.jp/events/collaboriversummit20190126reportbook/>

『第2回小さな自然再生サミット 2025 京都大会』を12月7日（日）に京都にて開催することが決定しました。また、前日12月6日（土）には、小さな自然再生の現場を巡るオプションツアーや懇親会も予定しております。

これからサミット開催に向けた実行委員会を組織し企画準備を進めて参りますので、詳細は改めてご案内させていただきます。

皆さま、今年12月のカレンダーに是非ともご予約いあ抱けると幸いです。全国の小さな自然再生の仲間が集う楽しい師走をお楽しみに！

(JRRN 事務局・和田彰)





あの日のあの川 リレー日記 ～第 80 話～



あの日のあの川
リレーDiary

みなさんはどの川でどんなことをした記憶がありますか？ 幼少期や青春時代に体験した川での記憶を日記として掘り起こして語るコーナーです。リレー形式で毎回次の人にバトンをつなぎます。

第 80 話主人公 遠藤拓馬

(筑波大学大学院 システム情報学研究科 構造エネルギー工学専攻 白川(直)研究室『川と人』ゼミ)

(□川ガール・■川系男子)

(出身地を流れる川：福島県いわき市新川)

「変わりゆく川と変わりゆく私」

いつのこと？：小学生～高校生を経て現在へ

どの川？：いわき市夏井川

こんにちは。伊藤君からバトンをもらいました、白川研究室所属の遠藤です。私にとって川は、かつては恐れの対象でもあった水の流れている場所であり、一方で生物との触れ合いが心に安らぎを与えてくれる場所でもありました。

小学校の頃から水に入って泳ぐとなぜか鼻から水を吸ってしまい、プールの授業等は毎回生きて帰って来られるかを気にかけていました。身長伸びが止まるころにはだいぶましになりましたが、それでもやはり水は遠くから見るとは良いけれども、そこに真に近づこうとすると一抹の恐怖が頭の片隅から沸き上がり、その感覚に対してひたすら見て見ぬふりをしていました。

一方で、地元の夏井川では毎年秋にサケが遡上、冬には白鳥が飛来しました。また夏井川の支流で実家に最も近い新川にはカモ、コイ、アオサギ等が生息していました。白鳥を見に行きパンの耳を与えたり、カモやコイを見に行きパンの

欠片を与えてみたり、彼等の生活には目もくれず土手を通って高校までの道のりを自転車で行き来したり、確かに私の生活にも身近な川と定期的に、そして日常的にかかわるような側面があったのです。

高校生以降は災害としての川も認識するようになりました。高校 2 年生には令和元年東日本台風(2019)が夏井川やその支流の好間川を決壊させ、大学 2 年生には台風 13 号(2023)によって地元新川が越水し、見慣れた町が瓦礫と泥の山となりました。いずれの災害でも復旧活動に向かいましたが、水の破壊力に言葉を失い自然の恐ろしさを改めて痛感したことを、今でも鮮明に覚えています。2 回目の災害から 4 か月後に私は白川研究室『川と人』ゼミに入ることになりましたが、その決断をしたこととこれらの災害の経験は無関係ではないかもしれません。

冒頭の写真は大学 1 年生の冬に帰省した際に撮影した夏井川です。3 年前に決壊した堤防が補修され、大規模な河川改修工事が行われている最中でした。木の生い茂っていた河原は面影を消し、ハードに固められた護岸ブロックと盛り土がどこまでも続いていました。小学生の時に白鳥のエサやりをしていたのは丁度この辺りです。考えました。「ここに白鳥やサケは戻ってくるのだろうか。」

遠くに望む水石山より吹き付けてくる寒風は相変わらずの暴れっぷりでしたが、記憶にあるよりも冷たく、乾いていました。

(次は亀谷礁冴さんにバトンを託します)

【JRRN 会員からの提供情報】

■土木学会デザイン賞 2025 エントリー募集のお知らせ（6/27 エントリー〆切・6/30 応募〆切）

毎年、全国の水辺の空間も多数受賞に輝いております。皆さまが取組まれている川づくりの成果を是非ともご応募してみてもは如何でしょうか？

(以下、案内文)

土木学会デザイン賞は、土木構造物や公共的な空間を対象として、作品に貢献した人物・組織の顕彰を行うものです。2001年度の創設以降、過去24年間に250作品が受賞しております。今年度も5月1日よりエントリーを開始しておりますので、関係者の方々には、奮ってご応募・ご推薦頂きたい、お願い申し上げます。

＜募集期間＞・エントリー締切：6月27日／応募書類締切：6月30日

※詳細はデザイン賞ウェブサイトの募集要項をご覧ください。

<https://design-prize.sakura.ne.jp/applicant>

※過去の受賞作品も本賞ウェブサイトにてご覧いただけます。

<https://design-prize.sakura.ne.jp/award>

なお、応募者の皆様の負担軽減と手続きの円滑化を図り、応募書類はデータのみでの提出とさせて頂いています。 ご不明点等ございましたら、本賞ウェブサイトのお問い合わせフォームより事務局までご連絡下さい。

◆詳細は以下参照：

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/4391.html>



【JRRN 会員からの提供情報】

■ 第18回 隅田川クリーン大作戦（6/28開催）

隅田川流域クリーンキャンペーン実行委員会より、6月28日（土）に開催する隅田川クリーン大作戦のご案内です。

(以下、案内文)

東京の「母なる隅田川」への愛着を高め、よりよい水辺環境を創り出していくことを目的に、第 18 回目となる隅田川クリーン大作戦を開催致します。隅田川沿いの清掃活動を通じて、隅田川に架かる世界に誇る名橋の偉容や年々変遷する川沿いの景観を愛でませんか。お友達やご家族、職場の仲間とご一緒に是非ともご参加下さい。お待ちしております！

【開催日時】 令和7年6月28日（土）9：00～12：00

【集合場所】 以下のいずれかの場所に集合して下さい。

◆集合場所①：石川島公園 パリ広場

◆集合場所②：桜橋

【募集人数】 250 名

【申込方法】URL : <https://forms.gle/teG73ZzhHAZdW61e6>

【主催】 隅田川流域グリーンキャンペーン実行委員会

◆詳細は以下参照：

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/4394.html>



【お気軽にお問い合わせください】

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局

〒104-0033 東京都中央区新川 1 丁目 17 番 24 号 NMF 茅場町ビル 7 階 (公財) リバーフロント研究所 内

Tel:03-6228-3861 Fax:03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net

URL: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>

